

# 株式会社 製紙パレット機構

製紙パレットとは、製紙会社の主に平判製品が載せられた木製の架台を指し、紙製品の輸送・保管に欠かせないものです。

紙製品が印刷や紙加工されて、パレットが破損や汚損が無く製紙メーカーに戻ってくれば、再利用によりパレットを新たに作成せずに済むので、工場のコストダウンになるのみならず木材資源の節約にもなり、地球環境保全に大きく貢献することができます。

弊社は全国のパレット回収会社、紙関係の物流会社と提携して、全国的な製紙パレット回収システムを構築しております。

現在では、同業間の共同輸送や回収などは多くの企業で実施されていますが、営業面でライバル関係にあった製紙会社同士が、パレットの共同回収を始めたのは、約半世紀前の当時においては画期的なことでした。

## 1. 沿革

弊社は、「木材資源の愛護」と「流通合理化促進のためのパレットプールシステムの推進」のため、昭和48年に通商産業省 産業構造審議会 流通システム化推進会議の答申を受け、『製紙パレット共同回収機構』として発足しました。

昭和51年に事業の多角化を図るため『株式会社製紙パレット機構』として設立、回収網を日本全国に拡充して、指定回収協力会社とのネットワークを充実させ、回収体制の安定・強化を図ってきました。

また、現在では製紙メーカーのみならず、印刷・紙加工会社などの自家製パレットも回収させて頂いております。

## 2. 富士山 約120個分のパレット回収実績

2019年度に弊社が日本全国から回収し、取引先に返却したパレットは453万枚。

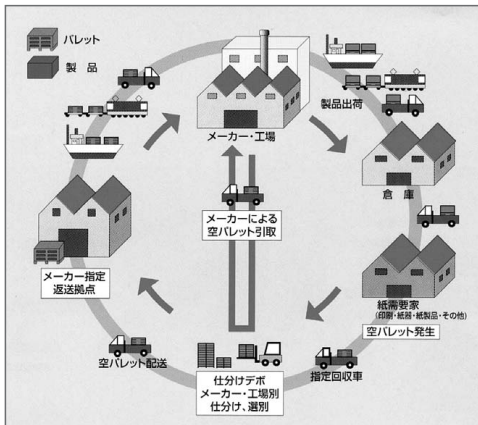
これはパレット1枚の高さを10cmと試算すると、なんと富士山約120個分の高さに相当します。

## 3. 製紙メーカーと一体となってパレット回収

また、主要製紙会社と回収業者が全国で定期的に会合を開催し、パレットの回収率を向上するために日々検討を重ねております。

昨今のホワイト物流解決の切り札としてパレット化を国が推奨していることから、大幅にパレットが不足し、残念ながら製紙パレットが不正流用されるケースが増加しております。

本件については、弊社から印刷・物流業界新聞紙上でのパレット回収システムやパレットの法的関係の啓蒙等の他に、主要製紙メーカーにおいても営業中心に顧客に回収啓蒙ビラを配布するなど、メーカー・業者一丸となって取り組んでいます。



パレット回収の仕組み



パレット不正流用防止啓蒙ポスター

### 会社概要

会社名：株式会社 製紙パレット機構  
所在地：東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館10階  
事業所：東京、関西、中部 回収デポ：全国11ヶ所  
電話：03-3248-4857  
代表者：代表取締役社長 岩田 憲明  
設立：昭和51年4月2日  
事業内容：パレット・当板の回収